

一次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

著作権者への配慮から現時点での掲載を控えております。

へらのえす。
者かて控ま
権慮点を
作配載を
の配時
の現掲て

(小林達雄『考古学ハンドブック』による)

(注) 継起 ≡ 物事が相ついで起ること。
枚挙にいとまない ≡ 多すぎていちいち数えきれない。
“C年代学” ≡ 炭素を使って科学的に年代を測定する学問。
学際的研究 ≡ さまざまな分野の学者が協力して行う研究。
残滓 ≡ のこりかす。

1 次のうち、本文中の①に入れるのに最も適していることばはどれか。
一つ選び、記号を○で囲みなさい。

ア 例えは イ それでも ウ しかし エ さて

2 ②とあるが、本文中で筆者は、遺物と遺構はそれぞれどのようなものであると述べているか。その内容についてまとめた次の文の□に入る内容を、本文中のことばを使って二十字以上 三十字以内で書きなさい。

遺物は、□であるのに対して、遺構は、地上に設けられた構築物で、大地と密着して移動できない不動産である。

3 □とあるが、本文中で筆者がこのように述べるのは、考古学にはどのようなことが必要とされるからか。次のうち、最も適しているものを一つ選び、記号を○で囲みなさい。

ア 遺跡における遺物や遺構に反映された行動を見極めるために、遺物や遺構を掘り当て、とり出すことよりも、それらがどこにあるのかをさまざまな方法を駆使して探り出す工夫が必要とされるから。

イ 遺跡における遺物や遺構を博物館の陳列棚に並べるために、掘り当て、とり出した遺物や遺構のあり方を見極め、さまざまな方法で現場検証を行うことが必要とされるから。

ウ 遺跡において掘り当て、とり出した遺物や遺構のあり方を見極めて、さまざまな方法を駆使して、遺物や遺構とそれらに反映された行動との関係を探り出す工夫が必要とされるから。

エ 遺跡において掘り当て、とり出した遺物や遺構とそれらに反映された行動との関係を読みとった後、さまざまな方法で遺物や遺構のあり方を見極めるための現場検証を行うことが必要とされるから。

4 考古学における歴史の解明について、本文中で述べられている筆者の考えを次のようにまとめた。□a、□bに入れるのに最も適しているひとつづきのことばを、それぞれ本文中から抜き出さない。ただし、□aは十二字、□bは九字で抜き出し、それぞれ初めの五字を書きなさい。

歴史的事件が発信するメッセージには、単なる歴史上のエピソードではなく□aがあり、考古学においては一つの歴史的事件を説明することによって完結せずに、発信されたメッセージを□bことが重要である。

二 次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

者への掲
権かて
慮点を
作配載を
の現掲て

(注) 法度 ≡ 禁令。禁止されていること。 松茸 ≡ キノコ的一种。マツタケ。

1 ①とあるが、皆はどのようなことを惜しいことだと言っているのか。次のうち、最も適しているものを一つ選び、記号を○で囲みなさい。

ア 竹の子を根もとから掘るのが禁止されていること。

イ 竹の子を根もとから掘っていかげんにあつかうこと。

ウ 竹の子を根もとから掘るのに時間がかかってしまうこと。

エ 竹の子をいかげんに掘って根もとだけをあつかうこと。

2 ②を現代かなづかいになおして、すべてひらがなで書きなさい。

3 ③とあるが、そばにいる人がこのように言う理由を次のようにまとめた。□aに入れるのに最も適しているひとつづきのことばを、本文中から三字で抜き出さない。また、□bに入る内容を本文中から読み取って、現代のことばで十字以上二十字以内で書きなさい。

物ごとに気がつく人の、□aは三年たつと立派な竹になるという言葉

葉を聞いて、松茸も□bと思っただから。

三 次の問いに答えなさい。

1 次の(1)～(4)の文中の傍線を付けた漢字の読み方を書きなさい。また(5)～(8)の文中の傍線を付けたカタカナを漢字になおし、解答欄の枠内に書きなさい。ただし、漢字は楷書で、大きくていねいに書くこと。

- (1) 仕事を任せる。 (2) 長年の功績をたたえる。
 (3) 弁護士が告訟状を作成する。 (4) 有名な建造物を見学する。
 (5) 機械のセンモン家に相談する。 (6) カギりある資源を大切に使う。
 (7) ヨウフクのしわを伸ばす。 (8) 主人公の成長したスガタを描く。

2 次の「和」という漢字を行書で書いたものである。楷書と比較したとき、で囲まれた①と②の部分に表れている行書の特徴の組み合わせとして最も適しているものを、次のア～エから一つ選び、記号を○で囲みなさい。



- | | | |
|---|---------|---------|
| ア | ① 点画の省略 | ② 点画の連続 |
| イ | ① 点画の連続 | ② 点画の省略 |
| ウ | ① 点画の省略 | ② 点画の省略 |
| エ | ① 点画の連続 | ② 点画の連続 |

3 次のうち、返り点にしたがって読むと「財を生ずるに大道有り。」の読み方になる漢文はどれか。一つ選び、記号を○で囲みなさい。

- ア 生_{スルニ} 財_リ 有_リ 大_リ 道_リ。
 イ 生_{スルニ} 財_リ 有_ニ 大_リ 道_リ。
 ウ 生_{スルニ} 財_リ 有_ニ 大_リ 道_リ。
 エ 生_{スルニ} 財_リ 有_ニ 大_リ 道_リ。

著作権者への配慮から現時点での掲載を控えております。

(若松英輔『言葉の羅針盤』による)

1 次のうち、☐と熟語の構成が同じものはどれか。一つ選び、記号を○で囲みなさい。

- ア 飲食 イ 曲線 ウ 停車 エ 善悪

四 次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

著作権者への配慮から現時点での掲載を控えております。

2 ☐とあるが、本文において、他人の考えた過程を反復的にたどる読書のことを筆者はどのように表現しているか。最も適しているひとつづきのことを、本文中から十二字で抜き出さなさい。

3 ☐とあるが、本文中で筆者が、思索の準備として「読む」と「書く」ことの両方を挙げているのはなぜか。その内容についてまとめた次の文の ☐ に入る内容を、本文中のことを使って四十字以上、五十字以内で書きなさい。

思索の準備として、「読む」ことで人が ☐ ことができるから。

4 次のうち、本文中で述べられていることがらと内容の合うものはどれか。最も適しているものを一つ選び、記号を○で囲みなさい。

- ア 読書は自分だけの固有な経験であり、同じ本を読んでもそこに見出す意味は個々の人間によってまったく異なるため、学問的な事実を探究する学者と違って、私たちは書物から客観的事実を見つけることはできない。
 イ プールで長く泳げば海を深く理解できると信じ込むことと同じように、数多くのページをめくれば深く世界を認識できると思うことは空想に過ぎないため、近代人はだれも多読に陥ることはなかった。
 ウ ショーペンハウアーは、読書を通じた思索の営みへと私たちを誘い、読書について述べた著書の表題を、「思索について——読書によって陥りがちなわなをめぐって」とした。
 エ 「読む」と「書く」は真に何かを認識しようとする一つの試みの、二つの側面にはかならず、人生の意味を真に認識しようとするとき、それらは呼吸のように分かちがたく結びつく。

	/10	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	採点者記入欄